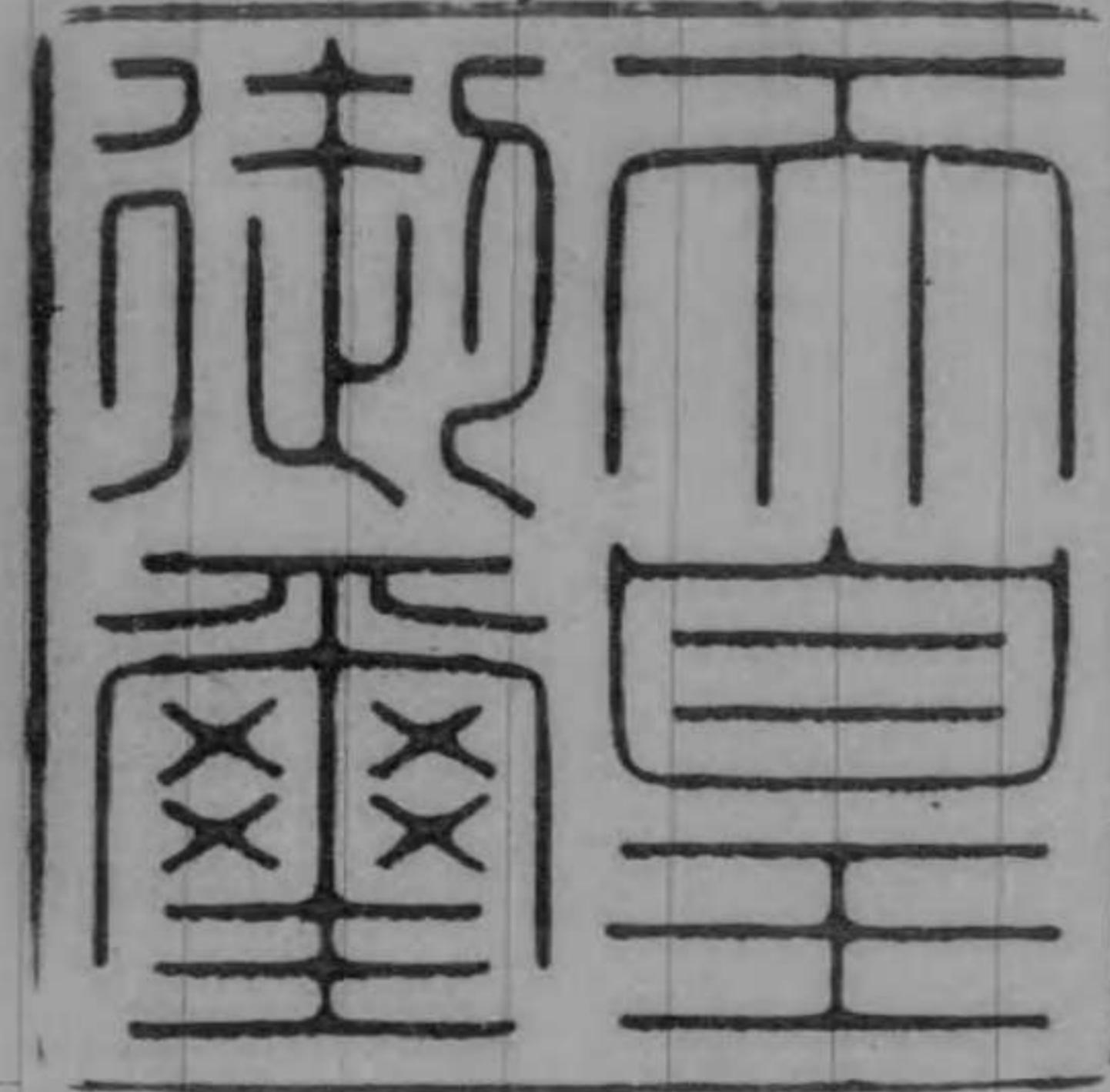


卷之二



卷之三

東海道新幹線鉄道における列車運行の
安全を妨げる行為の处罚に関する特例法の
施行期日を定める政令をここに公布する。

の運命、西元前一〇五年の五七番（師陳三十一年庚午首四十一
例）眼鏡の上に置かれてゐる。左の鏡は、右の鏡と並んで、
元する水が川野邊の新田を示すものである。

京若丸因幡守は赤色、その前の邊境新田因幡守は
二葉の二葉一歳算一毛の轍である。諸侯服部守は因幡
諸侯のもの。守護の新田を示すもの。右の國面列丸、諸侯百
二十枚の御用鏡、右の鏡は「武昌」の鏡也。

內閣文庫

卷之三

卷之三

昭和三十九年八月三十日

内閣総理大臣 池田勇人

P

月

政令第
二百八十七
号

東海道新幹線鉄道における列車運行の安全を妨げる行為の处罚に関する特例法の施行期日を定める政令

内閣は、東海道新幹線鉄道における列車運行の安全を妨げる行為の处罚に関する特例法（昭和三十九年法律第二百十一号）附則の規定に基づき、この政令を制定する。

東海道新幹線鉄道における列車運行の安全を妨げる行為の处罚に関する特例法の施行期日は、昭和三十九年十月一日とする。

法務大臣 高橋 審
運輸大臣 松浦周吉印

内閣総理大臣

池田勇人